

# 2019年度 4年次3月(卒業時)学修状況調査 (抜粋版)

## 調査の概要

立教大学では、昨年度の卒業生を対象に「2019年度 4年次3月(卒業時)学修状況調査」を実施しました。集計・分析結果の一部をご紹介します。アンケートにご回答いただいた卒業生のみなさん、ご協力ありがとうございました。立教大学では、このアンケートの結果を、これからの教育の改善に活かしていきます。

実施時期: 2020年3月～5月

調査対象: 2019年度学部卒業生

調査方法: 卒業生を対象とした全数調査

\* 新型コロナウイルス感染症拡大により卒業式が中止となったため、卒業生に学位記を個別郵送する際にアンケート用紙を同封し、学位記の受領証とともに返送してもらう方式で実施

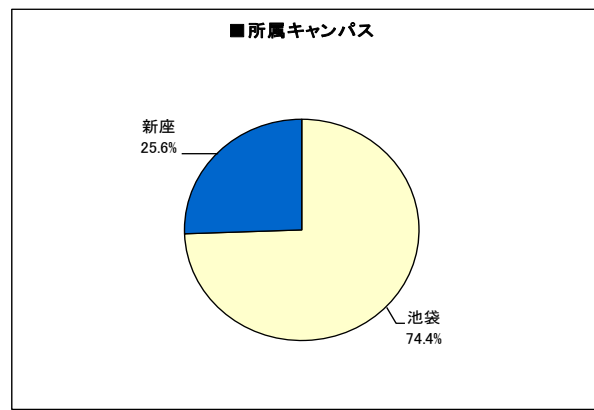
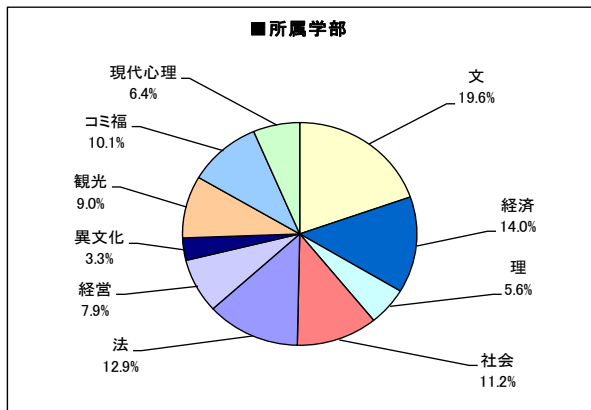
調査目的:

卒業時時点での立教大学での学びや過ごし方について把握し、教務・学生生活関係の情報と合わせて、教育改善のために活用することを目的としています。

## 回答者数と回答率

回答者数2,758票 回答率: 63.7% (2020年3月卒業生数: 4,329人)

キャンパス	学部	対象者数	回答者数	回答率
池袋	文学部	863	541	62.7%
	経済学部	617	385	62.4%
	理学部	259	153	59.1%
	社会学部	481	309	64.2%
	法学部	573	357	62.3%
	経営学部	351	218	62.1%
	異文化コミュニケーション学部	139	90	64.7%
新座	観光学部	359	249	69.4%
	コミュニティ福祉学部	407	279	68.6%
	現代心理学部	280	177	63.2%
合計		4,329	2,758	63.7%



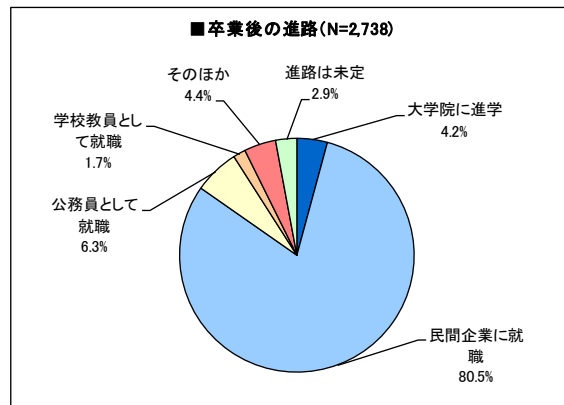
- 回答者の所属キャンパスは「池袋」が74.4%、「新座」が25.6%でした。

## 調査結果(抜粋)

ここでは、本調査の中から満足度および成長実感を中心に調査・分析結果の一部を抜粋してご紹介します。

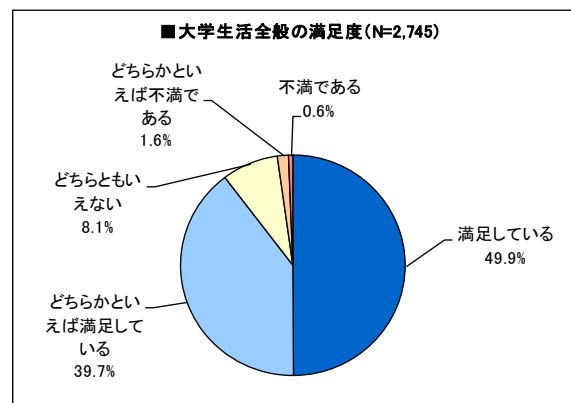
### 卒業後の進路

- 「卒業後の進路」で最も多かったのは「民間企業に就職」であり、80.5%と大多数を占めていました。
- 上記以外では「公務員として就職」が6.3%、「大学院に進学」が4.2%、「学校教員として就職」が1.7%、「その他」が4.4%であり、「進路は未定」という回答は2.9%でした。



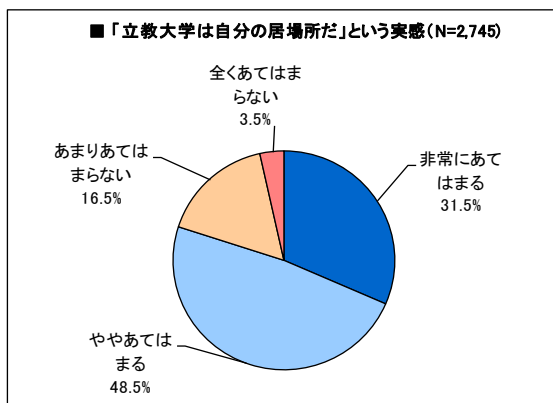
### 大学生活全般の満足度

- 「あなたは大学生活全般に満足していますか？」に対しては、「満足している」が49.9%でほぼ半数を占めており、「どちらかといえば満足している」の39.7%を加えると、満足度は89.6%となりました。



「立教大学は自分の居場所だ」という実感

● 「立教大学は自分の居場所だ」という実感を持っていますか？」に対しては、「非常にあてはまる」が31.5%、「ややあてはまる」が48.5%であり、合計すると80.0%が肯定的な回答となっていました。



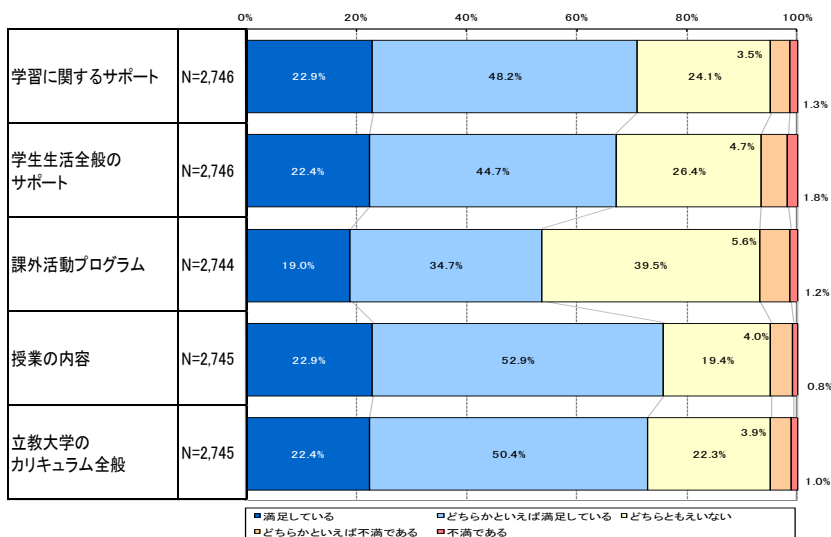
立教大学への満足度

● 肯定的な回答の合計が最も多かったのは「授業の内容」の75.8%でした。次いで、「立教大学のカリキュラム全般」が72.8%、「学習に関するサポート」が71.1%、「学生生活全般のサポート」が67.1%と続いています。

● 5分野の肯定的な回答の合計には差はあるものの、「満足している」は19.0%から22.9%でほとんど差がない点も特徴的です。

● 「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計も、5分野共に4%から6%台で差は少なく、立教大学に対する不満は小さいと言えます。

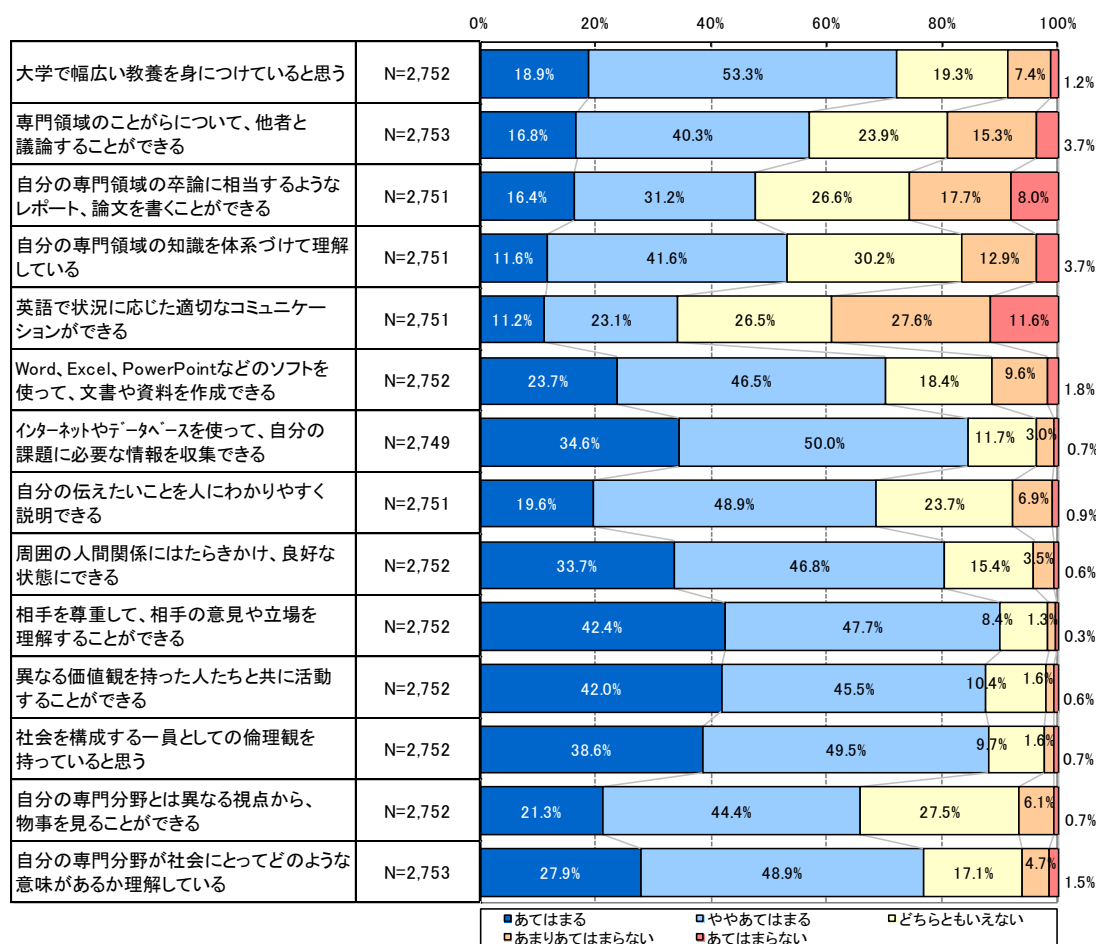
立教大学への満足度



### 自分自身の能力への評価

- 肯定的な回答の合計が最も多かったのは「相手を尊重して、相手の意見や立場を理解することができる」の90.1%であり、「社会を構成する一員としての倫理観を持っていると思う」が88.1%、「異なる価値観を持った人たちと共に活動することができる」が87.5%で続いています。

### ■自分自身の能力への評価



2020年10月  
集計・制作：立教大学 大学教育開発・支援センター 教学IR部会